



2019年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月9日

上場会社名 株式会社 鳥取銀行
コード番号 8383 URL <http://www.tottoribank.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 平井 耕司

問合せ先責任者 (役職名) 経営統括部長 (氏名) 八木 俊英

TEL 0857-37-0260

四半期報告書提出予定日 2018年11月27日

配当支払開始予定日

2018年12月3日

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期中間期	7,667	2.4	1,343	2.5	734	17.5
2018年3月期中間期	7,863	7.2	1,310	8.5	890	2.4

(注) 包括利益 2019年3月期中間期 227百万円 (67.9%) 2018年3月期中間期 709百万円 (%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期中間期	78.44	
2018年3月期中間期	95.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期中間期	1,002,480	49,904	4.9
2018年3月期	1,012,550	49,959	4.9

(参考) 自己資本 2019年3月期中間期 49,817百万円 2018年3月期 49,873百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		30.00		30.00	60.00
2019年3月期		30.00			
2019年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	18.8	900	18.5	96.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期中間期	9,619,938 株	2018年3月期	9,619,938 株
期末自己株式数	2019年3月期中間期	255,892 株	2018年3月期	255,369 株
期中平均株式数(中間期)	2019年3月期中間期	9,364,346 株	2018年3月期中間期	9,365,092 株

(個別業績の概要)

1. 2019年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期中間期	7,487	2.6	1,336	2.4	729	17.7
2018年3月期中間期	7,688	7.3	1,304	8.7	886	2.6

	1株当たり中間純利益	
	円 銭	
2019年3月期中間期	77.91	
2018年3月期中間期	94.68	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
2019年3月期中間期	999,597		47,640		4.7	
2018年3月期	1,009,485		47,555		4.7	

(参考)自己資本 2019年3月期中間期 47,640百万円 2018年3月期 47,555百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2019年3月期の個別業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	18.1	900	17.7	96.10

中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。

【添付資料】

目 次

1. 当中間決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	1
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 中間連結貸借対照表	2
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	3
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	5
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
3. 中間財務諸表	8
(1) 中間貸借対照表	8
(2) 中間損益計算書	10
(3) 中間株主資本等変動計算書	11

※2019年3月期 第2四半期決算説明資料

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間期におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が継続するなかで緩やかな回復基調が続いたものの、各地で発生した自然災害が物流や観光産業に広範囲な影響を及ぼしたことや、米国の保護主義姿勢の強まりを受けた海外経済の不透明感から、先行きの景況感に慎重な見方が広がりました。今後については、設備投資が堅調に推移し、雇用・所得環境の改善を受けた内需の持ち直しが期待される一方で、来年10月に控えた消費税増税に対する個人消費の動きを注視していく必要があります。

次に金融市場では、日本銀行は長引く金融緩和の副作用にも配慮するため、長期金利の一定幅の上昇を容認する一方で、現状の金融緩和を当面続ける方針を示しており、今後も低金利環境は続くものとみられています。

鳥取県経済を見ますと、個人消費に低調な動きが続いており足踏みが続くものの、生産に持ち直しの動きがあるほか、雇用・所得環境の着実な改善により、県内経済は総じて緩やかな回復を続けております。そのようななか、鳥取砂丘コナン空港や境港の水木しげるロードがリニューアルされるなど、観光資源の拡充による国内観光客の増加が期待されています。

このような環境の下、当行は役職員一体となって業績の進展と内容の充実に努めました結果、以下のような業績となりました。

連結ベースの経常収益は、株式等売却益の増加によりその他経常収益が増加したものの、利回り低下に伴う貸出金利息、有価証券利息配当金の減少により資金運用収益が減少したほか、国債等債券売却益の減少によりその他業務収益が減少したことから、前年同期比1億96百万円減少の76億67百万円となりました。経常費用は、資金調達費用が減少したほか、人件費を中心に営業経費が減少したことなどから、同2億29百万円減少の63億23百万円となりました。

その結果、経常利益は13億43百万円となり、前年同期比33百万円増加しましたが、減損損失が増加したことなどから、親会社株主に帰属する中間純利益は同1億56百万円減少の7億34百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

連結ベースの資産・負債につきましては、預金は、法人預金が減少したことから、前連結会計年度末比93億52百万円減少の9,274億15百万円となりました。

貸出金は、個人向け貸出が順調に増加したことに加え、事業性貸出、公共向け貸出ともに増加したことから、同125億82百万円増加の7,751億58百万円となりました。

有価証券は、国債の減少を主因に、同127億33百万円減少の1,319億74百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2018年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当中間連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
現金預け金	73,788	63,056
有価証券	144,707	131,974
貸出金	762,576	775,158
外国為替	501	583
その他資産	5,972	5,832
有形固定資産	11,381	11,182
無形固定資産	716	711
退職給付に係る資産	6,708	7,331
繰延税金資産	1,225	1,010
支払承諾見返	8,668	8,789
貸倒引当金	△3,681	△3,137
投資損失引当金	△15	△11
資産の部合計	1,012,550	1,002,480
負債の部		
預金	936,767	927,415
コールマネー及び売渡手形	56	61
借入金	8,700	8,300
その他負債	5,229	4,820
賞与引当金	482	482
退職給付に係る負債	1,724	1,724
偶発損失引当金	265	322
睡眠預金払戻損失引当金	39	27
販売促進引当金	24	23
再評価に係る繰延税金負債	631	608
支払承諾	8,668	8,789
負債の部合計	962,591	952,575
純資産の部		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	6,452	6,452
利益剰余金	29,770	30,271
自己株式	△673	△674
株主資本合計	44,611	45,111
その他有価証券評価差額金	2,232	1,863
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,062	1,015
退職給付に係る調整累計額	1,966	1,827
その他の包括利益累計額合計	5,262	4,706
非支配株主持分	85	87
純資産の部合計	49,959	49,904
負債及び純資産の部合計	1,012,550	1,002,480

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
経常収益	7,863	7,667
資金運用収益	5,599	5,168
(うち貸出金利息)	4,609	4,502
(うち有価証券利息配当金)	864	550
役務取引等収益	1,314	1,280
その他業務収益	744	418
その他経常収益	205	799
経常費用	6,552	6,323
資金調達費用	345	252
(うち預金利息)	291	222
役務取引等費用	742	752
その他業務費用	100	1
営業経費	5,050	4,995
その他経常費用	313	321
経常利益	1,310	1,343
特別損失	7	127
固定資産処分損	3	0
減損損失	3	127
税金等調整前中間純利益	1,303	1,215
法人税、住民税及び事業税	187	67
法人税等調整額	224	412
法人税等合計	411	479
中間純利益	891	736
非支配株主に帰属する中間純利益	0	1
親会社株主に帰属する中間純利益	890	734

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
中間純利益	891	736
その他の包括利益	△181	△508
その他有価証券評価差額金	△135	△363
繰延ヘッジ損益	0	△0
退職給付に係る調整額	△78	△139
持分法適用会社に対する持分相当額	32	△6
中間包括利益	709	227
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	709	225
非支配株主に係る中間包括利益	0	1

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,061	6,452	29,231	△672	44,073
当中間期変動額					
剰余金の配当			△280		△280
親会社株主に帰属する中間純利益			890		890
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	-	-	609	△0	608
当中間期末残高	9,061	6,452	29,841	△673	44,682

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,586	△0	1,058	2,078	5,724	82	49,879
当中間期変動額							
剰余金の配当							△280
親会社株主に帰属する中間純利益							890
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△103	0	-	△78	△181	0	△180
当中間期変動額合計	△103	0	-	△78	△181	0	428
当中間期末残高	2,483	0	1,058	2,000	5,542	82	50,307

当中間連結会計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,061	6,452	29,770	△673	44,611
当中間期変動額					
剰余金の配当			△280		△280
親会社株主に帰属する中間純利益			734		734
自己株式の取得				△0	△0
土地再評価差額金の取崩			47		47
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	-	-	500	△0	499
当中間期末残高	9,061	6,452	30,271	△674	45,111

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,232	0	1,062	1,966	5,262	85	49,959
当中間期変動額							
剰余金の配当							△280
親会社株主に帰属する中間純利益							734
自己株式の取得							△0
土地再評価差額金の取崩							47
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△369	△0	△47	△139	△555	1	△554
当中間期変動額合計	△369	△0	△47	△139	△555	1	△54
当中間期末残高	1,863	0	1,015	1,827	4,706	87	49,904

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 中間財務諸表
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当中間会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
現金預け金	73,788	63,056
有価証券	144,473	131,743
貸出金	763,116	775,755
外国為替	501	583
その他資産	4,580	4,406
その他の資産	4,580	4,406
有形固定資産	11,379	11,180
無形固定資産	715	710
前払年金費用	3,760	4,593
繰延税金資産	2,129	1,853
支払承諾見返	8,668	8,789
貸倒引当金	△3,613	△3,063
投資損失引当金	△15	△11
資産の部合計	1,009,485	999,597
負債の部		
預金	936,789	927,437
コールマネー	56	61
借入金	8,700	8,300
その他負債	4,702	4,323
未払法人税等	244	77
リース債務	1,251	1,138
その他の負債	3,205	3,106
賞与引当金	479	479
退職給付引当金	1,596	1,607
偶発損失引当金	265	322
睡眠預金払戻損失引当金	39	27
再評価に係る繰延税金負債	631	608
支払承諾	8,668	8,789
負債の部合計	961,930	951,957

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当中間会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	6,452	6,452
資本準備金	6,452	6,452
利益剰余金	29,553	30,049
利益準備金	2,628	2,628
その他利益剰余金	26,925	27,421
別途積立金	25,645	26,145
繰越利益剰余金	1,280	1,276
自己株式	△673	△674
株主資本合計	44,394	44,889
その他有価証券評価差額金	2,097	1,734
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,062	1,015
評価・換算差額等合計	3,160	2,750
純資産の部合計	47,555	47,640
負債及び純資産の部合計	1,009,485	999,597

(2) 中間損益計算書

	(単位：百万円)	
	前中間会計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当中間会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
経常収益	7,688	7,487
資金運用収益	5,579	5,149
(うち貸出金利息)	4,589	4,482
(うち有価証券利息配当金)	864	550
役務取引等収益	1,163	1,123
その他業務収益	744	418
その他経常収益	201	795
経常費用	6,383	6,150
資金調達費用	345	252
(うち預金利息)	291	222
役務取引等費用	658	664
その他業務費用	100	1
営業経費	4,982	4,928
その他経常費用	297	303
経常利益	1,304	1,336
特別損失	7	127
税引前中間純利益	1,297	1,208
法人税、住民税及び事業税	186	66
法人税等調整額	223	412
法人税等合計	410	478
中間純利益	886	729

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	9,061	6,452	6,452	2,628	24,645	1,752	29,025
当中間期変動額							
剰余金の配当					1,000	△1,280	△280
中間純利益						886	886
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)							
当中間期変動額合計	-	-	-	-	1,000	△394	605
当中間期末残高	9,061	6,452	6,452	2,628	25,645	1,357	29,631

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△671	43,867	2,523	△0	1,058	3,582	47,450
当中間期変動額							
剰余金の配当		△280					△280
中間純利益		886					886
自己株式の取得	△0	△0					△0
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)			△135	0	-	△135	△135
当中間期変動額合計	△0	604	△135	0	-	△135	469
当中間期末残高	△672	44,472	2,388	0	1,058	3,447	47,919

当中間会計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	利益剰余金合計	
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	9,061	6,452	6,452	2,628	25,645	1,280	29,553
当中間期変動額							
剰余金の配当					500	△780	△280
中間純利益						729	729
自己株式の取得							
土地再評価差額金の取崩						47	47
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	-	-	-	-	500	△4	495
当中間期末残高	9,061	6,452	6,452	2,628	26,145	1,276	30,049

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△673	44,394	2,097	0	1,062	3,160	47,555
当中間期変動額							
剰余金の配当		△280					△280
中間純利益		729					729
自己株式の取得	△0	△0					△0
土地再評価差額金の取崩		47					47
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)			△363	△0	△47	△410	△410
当中間期変動額合計	△0	494	△363	△0	△47	△410	84
当中間期末残高	△674	44,889	1,734	0	1,015	2,750	47,640